

Title	殷墟出土白色土器の研究(梅原末治著, 東方文化學院京都研究所発行)
Sub Title	
Author	松本, 信廣(Matsumoto, Nobuhiro)
Publisher	三田史学会
Publication year	1933
Jtitle	史学 Vol.12, No.1 (1933. 4) ,p.169- 170
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19330400-0169

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

つてをられるのであらうか。こういう言語學的方面に於て著者のなほ一層の教示が望ましい。

一體魏志倭人傳は、その章句少なるが如く見えて實は甚だ多岐なる問題に汎つてをる。しかして著者は、實にこの廣汎な諸問題に就て從來の如何なる學者より綜合的な批判を與へられてをる。支那の外國傳の章句に對し、從來かくの如く心血を注いだ考證を見ること稀れである。殊に著者の場合は、日本に關する章句を日本人自ら取扱ふたのであるから、此點幾多の適切な教訓を藏してをる。將來支那外國傳研究の準據は、氏の研究によつて示されたと云へやう。著者の研究は我國史並びに極東上古史のみならず東洋史研究法の上に至大の貢獻をなしてをるのである。本書の公刊は實に最近の我史學界の誇るべき業績であり昭和の文運を永久に飾る一大記念碑と云ふべきである(大岡山書店刊行)(松本信廣)。

殷墟出土白色土器の研究

梅原末治著
東方文化學院京都研究所發行

東方文化學院京都研究所報告第一冊として久しく待望されてゐた殷墟出土白色土器の研究が出版された。一體白色土器は、京大の濱田博士によつて「國華」及び東洋文庫の歐文紀要を通じて世界の學界に紹介されたもの、今や同博士門下の逸材梅原末治氏によつて同土器研究の集大成がなされたことは我學界の爲萬丈の氣を吐く慶事である。著者は、本書の爲我國は申すに及ばず支那、歐米各地の蒐藏を閲し、その殘片を整理分類して、形を復原し、

その最も多數のものを缺失した器體に接する部分に横帯を繞らし、その上方は中程で括れ、他端で外に開いた長い一種の頸部と及び高杯の坏部に似た淺い鉢形の外形をなすものとの二類に分ち、此二群が、共に完形を推し得ず、一端を缺いてをるので共に一つの器形の各々の部分でないかと推し、之を一種の二重底式の古調を帯びた高杯に還元し、更にその外に胴部の長い鉢形土器の破片とか、銅器の形との類似を考へしめる殘片の多少存することに注意し、其土器の資料は、鐵分含むこと割合に少い沈澱性の良質の粘土であつて轆轤が使用され、成形後に鋭く面に文様を刻出したこと、焼くには一種の登り窯を用ひ、焼成の溫度千度内外であり、陶器に近い程度に達つたことを述べ、すゝんで圖文が三代の古銅器に酷似し、雷文の外に各種の動物文あり、その文様は、大洋洲・北アメリカの土人文様と一脈の關係あること、よし一部論者の様に北太平洋文化説の據所とするにはなほ多く考慮を要するが之が同じ野蠻文様的一種に加ふべきであり、同じく木彫として發達した圖文とすることは許さるべき推測なりとなし、ついで此土器の年代を論じ、たとひ之が殷墟から出土することは確實なるも直ちに殷墟のものとして断定し得ず、たゞその形式的考察から、之が三代銅器に類似し、かつ殷墟出土の象牙骨片、磬片、環狀石片上の効文なども一致し、殷墟時代の遺物とする推測の蓋然性をなすと論じ、また此土器を奢侈式と名づけて所謂農民式と區別する濱田博士の説に贊し、ゼーン・ファイサー・シレン氏等の此土器を古銅器の原型となす説を駁し、土器の大半は一種の豆形であり、かゝる豆形古銅器には少く、かつその刻文の手法も異な

